

公益財団法人わかやま地元力応援基金 2019 年度事業報告

【概要と成果】

2019 年度は、昨年度に引き続き、和歌山県における市民公益活動を支える様々なプログラムを実施した。

継続実施している印南まちづくり基金については、これまでの文化的活動に加えて、コミュニティビジネスにつながる事業の提案なども採択され、次のステップへと進むことができている。特に、山間部である真妻地区から継続して複数の提案が寄せられるようになり、団体相互の連携と合わせて印南町と連携協力し継続支援する体制構築を行っている。事業指定寄附では、昨年度スタートした「スポーツの未来基金」は定着化することができた。また、全国コミュニティ財団協会との連携により、休眠預金活用へ向けた事業の企画がスタートし、コロナ対策関連への支援寄付制度の設計なども検討が始まった。事務局運営については引き続き理事によるボランティア運営を行っているが、寄付者管理の効率化の推進など機能強化・寄付募集体制の充実に努めている。寄付募集に関して、県内4団体から相談を受けた。

次年度も引き続き市民コミュニティ財団として、より認知度の向上を目指し、ファンドレイジングの強化、事務局のより効率的な運営等を進めていく。

■ 資金仲介についての成果 数値寄付・助成プログラムの成果

2019 年度は、6,538,860 円（前年度比円減）の寄付をもとに市民公益活動を支え、地域課題解決に貢献することができた。

- ・ 地域・テーマ別基金での助成：1,650,000 円（印南まちづくり基金）
1,800,000 円（和歌山スポーツ未来基金）

各助成プログラムと基金への寄付額のうち 10-30%程度（事業による）と財団運営への寄付はそれぞれの助成プログラムや寄付募集の費用としても活用。